



プロトコルコンバータ 設定ツール  
**NVS-PTC**

---

簡易版

取扱説明書 Ver.1.3.0

## 1 PTC 設定ツールの設定

ここでは、PTC 設定ツールを使用した設定方法について記載します。

※画面イメージは 4CH の場合のものとなります。

### 1.1 設定ツールの起動と各部の説明

#### 1.1.1 設定ツールの起動

デスクトップ上の[PTC 設定ツールへのショートカット]のアイコンをクリックします。

正常に起動されると下記の画面が表示されます。

起動時に自動的に、現在のパソコンと同一セグメント上のプロトコルコンバータを検索しますので、検索が完了するまで、しばらくお待ちください。PTC ユニットが見つかったら、画面左側にツリー表示されます。



#### 1.1.2 画面の各エリアの説明



1) メニュー部

このエリアはコンテキスト・メニューです。

メニュー構成は、

- [メニュー] → [設定読み込み]/[設定書き出し]/[終了]
- [環境設定] → [レジストリ設定]/[メンテナンス]
- [ヘルプ] → [ヘルプの設定]/[バージョン情報]

です。

- [設定読み込み] : 入力チャンネルと出力チャンネルの設定を csv ファイルから読み込みます。
- [設定書き出し] : 入力チャンネルと出力チャンネルの設定を csv ファイルへ書き出します。
- [終了] : 本プログラムを終了します。
- [レジストリ設定] : 本体のレジストリに設定されている内容(ログフォルダ、MPEG-2 国土交通省仕様の場合に使用するメーカーID、ログ出力レベル、LAN ポート監視パラメータ、ユニット定時自動リセット)がここで設定できます。



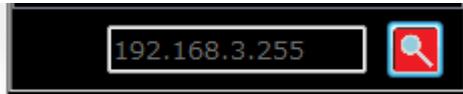
- [メンテナンス] : 本体の H/W 情報(LAN1,LAN2 の使用状況、CPU 負荷状況、メモリ使用状況、PTC のプログラムの稼働状況、初期化メニュー、ログの収集が行えます。



## 2) ユニット検索部

このエリアは PTC ユニットの検索に関するものです。

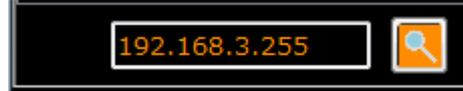
ユニットを検索し、見つかったものをリスト表示、各ユニットへのログオン処理を行います。



左上図は検索中画面です。

左のアドレスエリアには、検索マスクを入力します。

このエリアは検索中には入力できません。



左上図の右の赤色になっているボタンが検索ボタンです。

このボタンが黄色の時は、検索完了時です。

この検索可能範囲は、本設定ツールを実行しているパソコンから Ping コマンドの届く範囲となります。

見つかったユニットのリスト表示は、検索で見つかった直後は、左図の様にユニット名が赤色で表示されます。

この状態からログオン状態へ変わると緑色になります。



ログオンするには、見つかったユニット名をマウスで選択し、表示されるユニットログオンダイアログで、ログオン ID とパスワードを入力し、OK ボタンを押します。成功すると、緑色に変わります。



### 3) 出力チャンネル情報設定部

このエリアは出力チャンネルの設定に関するものです。

どのような形式の映像フォーマット(コーデック、ビットレート、フレームレート、解像度)で出力するか、また、ネットワークへ出力するときのプロトコル、出力ストリームのアドレスとポートを設定します。

#### [種別]

The screenshot shows a dropdown menu titled '種別'. The selected option is 'MPEG2\_PS\_JP'. Below the dropdown, the text 'MPEG2\_PS\_JP' is displayed in a blue box.

出力のタイプを設定します。

MPEG2\_PS\_JP : 国土交通省仕様 MPEG-2 PS を出力します

#### [使用 NIC]

The screenshot shows a dropdown menu titled '使用NIC'. The selected option is '192.168.003.043'. Below the dropdown, the text '192.168.003.043' is displayed in a blue box, with '192.168.003.042' and 'ANY' visible as other options.

出力にどのネットワークインターフェイスカードのポートを使用するかを設定します。

#### [プロトコル]

The screenshot shows a dropdown menu titled 'プロトコル'. The selected option is 'MULTICAST'. Below the dropdown, the text 'MULTICAST' is displayed in a blue box, with 'UNICAST' visible as another option.

出力のネットワーク・プロトコルを設定します。

MULTICAST : 通常の国土交通省仕様の場合はこちらを選択します。

UNICAST : マルチキャストの使用が禁止されている監視等ではこちらを設定します。

#### [アドレス・ポート]

The screenshot shows a table with two columns: 'アドレス' (Address) and 'ポート' (Port). The address '224.1.1.10' is entered in the address field, and '20000' is entered in the port field.

出力ストリームのアドレスとポートを設定します。

アドレスは、マルチキャストの場合はマルチキャストアドレスを、

ユニキャストの場合は宛先の IP アドレスを設定します。

[ビットレート]



出力ストリームのビットレートを設定します。

AUTO は、入力映像ストリームのビットレートを使用します。

国土交通省仕様 MPEG-2PS の場合は、6 Mbps を設定します。

[解像度]



出力ストリームの解像度を設定します。

AUTO は、元映像の解像度を使用します。

国土交通省仕様 MPEG-2PS の場合は D1 を設定します。

[FPS]



出力ストリームのフレームレートを設定します。

AUTO は、元映像のフレームレートを使用します。

国土交通省仕様の SD の場合は 30 fps を設定します。

4) 入力チャンネル情報設定部

このエリアは入力チャンネルの設定に関するものです。

入力映像のフォーマット(カメラやエンコーダのメーカーやシリーズとコーデック)、その出力元になるデバイスの IP アドレス、また、その映像のネットワーク・プロトコル、アドレス、ポートを設定します。

[使用]



このチャンネルの変換を起動するかを設定します。  
チェックを入れると起動(実行)され、チェックを外すと起動しません。

[種別]

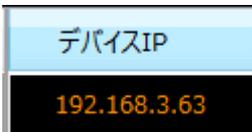


入力のタイプを設定します。

- PANASONIC\_IPRO\_CH1 : パナソニック IPRO シリーズの 1CH の場合
- PANASONIC\_IPRO\_CH2 : パナソニック IPRO シリーズの 2CH の場合
- PANASONIC\_IPRO\_CH3 : パナソニック IPRO シリーズの 3CH の場合
- PANASONIC\_IPRO\_CH4 : パナソニック IPRO シリーズの 4CH の場合
- PANASONIC\_BB\_CH1 : パナソニック BB シリーズの 1CH の場合
- PANASONIC\_BB\_CH2 : パナソニック BB シリーズの 2CH の場合
- SONY\_SNC\_CH1 : SONY SNC シリーズの 1CH の場合
- SONY\_SNC\_CH2 : SONY SNC シリーズの 2CH の場合
- AXIS\_CH1 : Axis Communications のカメラや IP エンコーダの場合
- NETWORK\_STREAM : その他エンコーダや常時配信のネットワークに流れて

いるストリームの場合

[デバイス IP]



入力元のカメラや IP エンコーダの IP アドレスを指定します。  
カメラ等へ RTSP で映像要求をするときに使用します。



このアドレスの入力元デバイスへログオンするときに必要な  
ログオン ID とパスワードは、コンテキスト・メニュー [ログオン ID/  
パスワード] のログオンダイアログで設定します。

[使用 NIC]

入力にどのネットワークインターフェイスカードのポートを使用するかを設定します。

[プロトコル]

入力のネットワーク・プロトコルを設定します。

MULTICAST : 入力するストリームがマルチキャストの場合に設定します。

UNICAST : 入力するストリームがユニキャストの場合に設定します。

[アドレス・ポート]

入力ストリームのアドレスとポートを設定します。

アドレスは、マルチキャストの場合はマルチキャストアドレスを、  
ユニキャストの場合は宛先の IP アドレスを設定します。

[コーデック]

入力ストリームのコーデックを設定します。

入力元となるデバイスの設定と合わせる必要があります。

### 5) 入出力チャンネル情報設定共通部

このエリアは出力チャンネル情報設定、入力チャンネル情報設定に共通する機能について説明します。

#### [保存]

出力チャンネル情報設定部、入力チャンネル情報設定部で設定されている内容を本体へ保存します。

#### [一括設定用拡張機能]



設定内容の複写機能があります。

出力チャンネル情報設定部、入力チャンネル情報設定部の各項目の  
コンテキスト・メニューの[複写]で行えます。

[複写]の実行手順は、その項目の一括処理するチャンネルをすべて選択しハイライトさせ、

複写元のところでコンテキスト・メニューの[複写]を実行します。選択された項目すべてに複写が実行されます。

### 6) ステータス通知部

このエリアは操作中の状況やメッセージなどをリアルタイムに表示するものです。



### 1.1.3 レジストリ設定

[ローカルフォルダパス]

ログファイルや設定ファイルが格納されるフォルダを設定します。変更しないでください。

[制御コマンド待受けポート]

建電協コマンドの待受けポートを設定します。

[メーカーID(Hex)]

国土交通省仕様の MPEG-2 PS 出力のときに使用するメーカーID を 16 進数で設定します。  
変更しないでください。

[出力先識別]

出力先デコーダーのメーカー識別を設定します。コンボボックスより該当メーカーを選択します。

[ログ出力フィルタ]

ログ出力する内容のフィルタを設定します。通常運用時は、[エラー情報・ワーニング情報]を選択します。  
多くの情報を出力する様に設定する場合は、変換への影響が発生します。

[LAN1 監視設定] [LAN2 監視設定]

LAN1、LAN2 ポートの使用帯域を定期的にチェックし、設定された数値以下になった場合にシステムを再起動する為の設定になります。

チェックを入れると監視 ON になります。監視は送信側と受信側を別々に設定することが可能です。

[定期再起動設定]

これは、毎日定刻に再起動を実行する為の設定になります。

右のコンボボックスにある既定の再起動時刻から再起動させたい時刻を選択し、左のエリアへ追加ボタンで追加します。

左のエリアから削除ボタンで削除します。

### 1.1.4 メンテナンス



#### [ネットワーク]

PTC ユニットにある 2 つのネットワークインターフェイスカードの状態(リンク状態、使用量)を表示します。  
 リンク状態は左側のポート名のバーの色で表しています。 緑：リンクアップ、赤：リンクダウン  
 使用量は、送信帯域÷リンク帯域の%表示を右のプログレスバー上に表示します。

#### [サービスプログラム]

PTC のサービスプログラムの実行状態(稼働状態)を表示します。  
 状態は左側の各サーバー名のバーの色で表しています。 緑：稼働中、赤：停止中

#### [CPU 状態表示]

PTC の CPU 負荷とメモリ使用率を表示します。

#### [初期化]

ソフトリセット：PTC のサービスプログラムのみ再起動します。  
 ハードリセット：PTC ユニット全体の再起動をします。  
 設定値初期化：PTC 本体の IP アドレス以外の設定情報をすべて初期化します。

#### [ログ収集]

ログファイルの収集を行います。  
 ※ダウンロードされたログファイルは、アーカイブ+圧縮したファイルになっておりますので、テキストエディタでは見ることが出来ません。トラブル対応などの際に、弊社へ送付して戴く為のものです。

### 1.1.5 メニュー[設定読み込み]

設定を、このツールにて対話的に設定を行うことが出来ます。しかし、台数が多い場合などに、対話で設定するのは非常に非効率です。本ツールでは CSV 形式で作成した設定ファイルを読み込み、一括で自動設定することが出来ます。その方法について説明します。

下記の表は、4CH の場合の設定項目と各項目の設定候補値、および初期値です。

項目	設定値(デフォルト/候補値)	説明
ユニット名称		PTC ユニットのホスト名
ユニットのログオン ID	admin(デフォルト)	PTC へのログオン ID
ユニットのログオンパスワード	12345(デフォルト)	PTC へのログオンパスワード
出力 CH 番号	1 2 3 4	CH 番号を指定 ※1CH の場合は 1 のみ
出力 CH の種別	MPEG2_PS_JP	MPEG2 PS 国土交通省仕様
出力 CH の使用 NIC	ANY ユニットで存在する IP アドレス	2 ポート使用時は LAN1 のアドレスを指定、1 ポート使用時は ANY
出力 CH のプロトコル	MULTICAST UNICAST	
出力 CH のアドレス		マルチキャストの場合はマルチキャストアドレス、ユニキャストの場合は送信先の IP アドレス
出力 CH のポート		
出力 CH のビットレート	AUTO _1500Kbps _2000Kbps _3000Kbps _4000Kbps _5000Kbps _6000Kbps	AUTO は入力データ依存
出力 CH の解像度	AUTO HALFD1 VGA D1	AUTO は入力データ依存
出力 CH の FPS	AUTO _30	AUTO は入力データ依存
入力 CH 番号	1 2 3 4	出力 CH 番号と同じ ※1CH の場合は 1 のみ
入力 CH の使用	True False	True:実行、False:停止

入力 CH の種別	PANASONIC_IPRO_CH1 PANASONIC_IPRO_CH2 PANASONIC_IPRO_CH3 PANASONIC_IPRO_CH4 PANASONIC_BB_CH1 PANASONIC_BB_CH2 SONY_SNC_CH1 SONY_SNC_CH2 AXIS_CH1 NETWORK_STREAM	パナソニック I-PRO シリーズ パナソニック I-PRO シリーズ パナソニック I-PRO シリーズ パナソニック I-PRO シリーズ パナソニック BB シリーズ パナソニック BB シリーズ SONY SNC シリーズ SONY SNC シリーズ Axis Communications 製品 パナソニック I-PRO シリーズ Auto Start 用
入力 CH のデバイス IP		カメラやエンコーダの IP アドレス
入力 CH の使用 NIC	ANY ユニットで存在する IP アドレス	2 ポート使用時は LAN2 のアドレスを指定、1 ポート使用時は ANY
入力 CH のプロトコル	MULTICAST UNICAST	カメラから受信するときのネットワーク・プロトコル
入力 CH のアドレス		マルチキャストの場合はマルチキャストアドレス、ユニキャストの場合は入力 CH の使用 NIC のアドレス
入力 CH のポート		
入力 CH のコーデック	MPEG2 MPEG4 H264ES H264TS H264TTS	
入力 CH のログオン ID		カメラやエンコーダへのログオン ID
入力 CH のログオンパスワード		カメラやエンコーダへのログオンパスワード

CSV ファイルの書式は 1 行を 1CH 分とし、

1CH の場合は、1 行に上記表のすべての項目をカンマ区切りで書出し、

4CH の場合は、4 行書出します。

各設定値はすべて**小文字大文字区別で半角英数字**を使用します。

#### 1.1.6 メニュー[設定書き出し]

「1.1.5 メニュー[設定読み込み]」の CSV ファイルに現在の設定内容を書き出します。

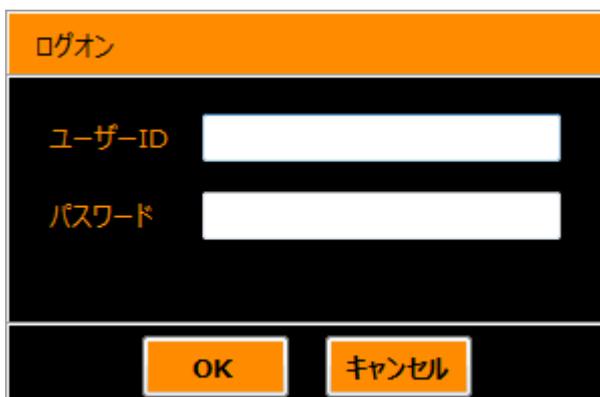
出力時のデフォルトファイル名は以下の形式となります。

“PtcSetting” + 日時(yyyyMMddHHmmss) + 拡張子“.csv”

## 1.2 補足説明

### 1.2.1 ユニットログオンダイアログ

このダイアログは、検索で見つかった PTC ユニットのツリーリストから本設定ツールを立ち上げて最初に選択されたときに表示され、ログオンを要求します。ログオンが 1 度完了すると、本設定ツールを再起動するまでログオン状態が有効となります。



The screenshot shows a dialog box with an orange header labeled 'ログオン'. The main area is black with white text and input fields. The 'ユーザーID' field contains the text 'root'. The 'パスワード' field is empty. At the bottom, there are two orange buttons with white text: 'OK' and 'キャンセル'.

### 1.2.2 デバイスログオンダイアログ

このダイアログは、入力チャンネル情報設定部の[デバイス IP]の設定でコンテキスト・メニュー[ログオン ID/パスワード]を選択すると表示されます。



The screenshot shows a dialog box with an orange header labeled 'デバイス ログオンID / パスワード設定'. The main area is black with white text and input fields. The 'ログオンID' field contains the text 'root'. The 'パスワード' field is masked with five dots. At the bottom, there are two orange buttons with white text: 'OK' and 'キャンセル'.

### 1.2.3 動作検証環境情報

入力ソース元の各社製品の製品名及び F/W バージョンは下記の通りです。

入力 CH の種別名	型番	バージョン	備考
PANASONIC_IPRO	DG-SC385	2.13	
PANASONIC_IPRO	DG-SW395	2.13	
PANASONIC_IPRO	DG-SW396	2.10	
PANASONIC_IPRO	AF-KSW598J	11.03	
PANASONIC_IPRO	AF-KSUD638	12.46/12.50/12.51	
PANASONIC_BB	BB-HCM735	4.50R05	
SONY_SNC	SNT-EX101E		
SONY_SNC	SNC-WR630		
SONY_SNC	SNC-EP580		
SONY_SNC	SNC-RH164		
SONY_SNC	SNC-RS46N		
AXIS_CH1	P5512-E	VAPIX3	
AXIS_CH1	M5014	VAPIX3	
NETWORK_STREAM	富士通 IP-700 II	V04L33	



株式会社 アイ・ディ・ケイ  
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765  
月曜～金曜 AM9:00～PM5:00

発行日 2018年02月19日 Ver.1.2.0\_

\*本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。

\*本書の無断転載を禁じます。